



IIIXIL ラシッサ アウトセット天井埋込み方式 取付説明書

●取り付けされる方に必ずお渡しください。

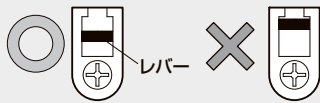
■守っていただきたいこと

▲注意 ……取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意



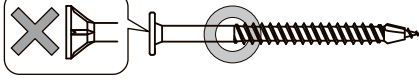
- 複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。
- 吊車をレバーが下がるまで差し込んでください。製品が脱落し、ケガをするおそれがあります。



保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
- 製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 本体部品の損傷、開閉不良防止のため落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- ソリ・ねじれ防止のため、立てかけての長期保管はせず、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車をレールに正しい向きで入れましたか？	☐
2	レール取付け後に全ての受け金具を緩みなく正しいねじで固定しましたか？ 	☐
3	吊車を最後(レバーが下がる)まで押し込みましたか？	☐

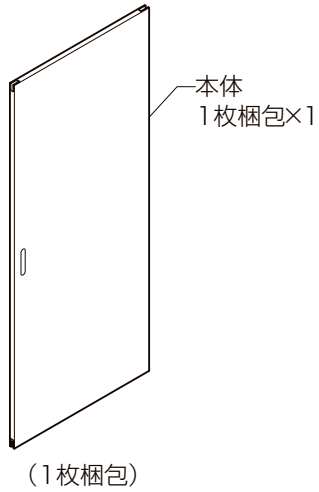


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

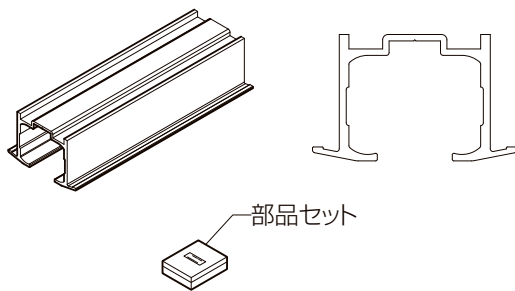
■部品・部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品

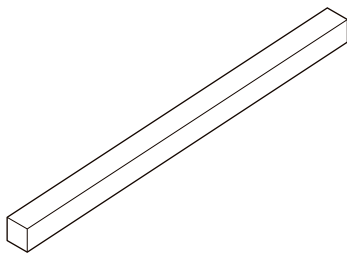
片引き用本体※1



上レール※1

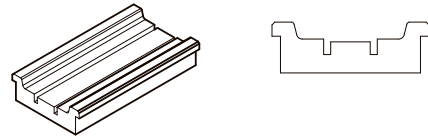


上部すき間埋め部材 (別売品)

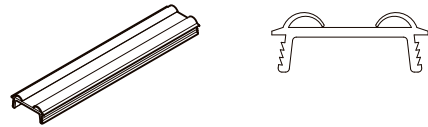


入隅用縦部材セット (錠付／錠なし) (別売品)

入隅用縦部材



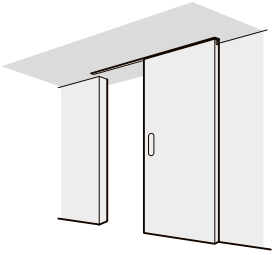
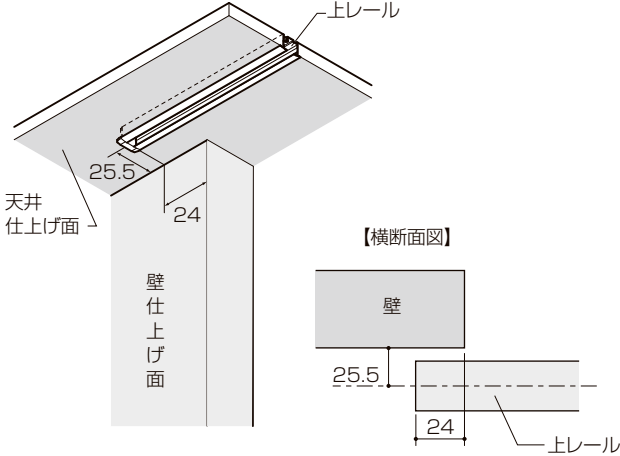
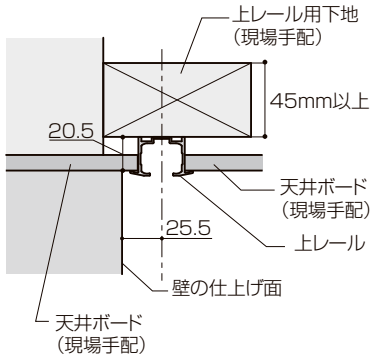
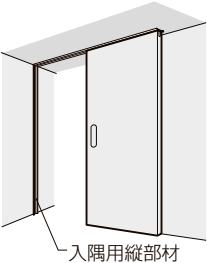
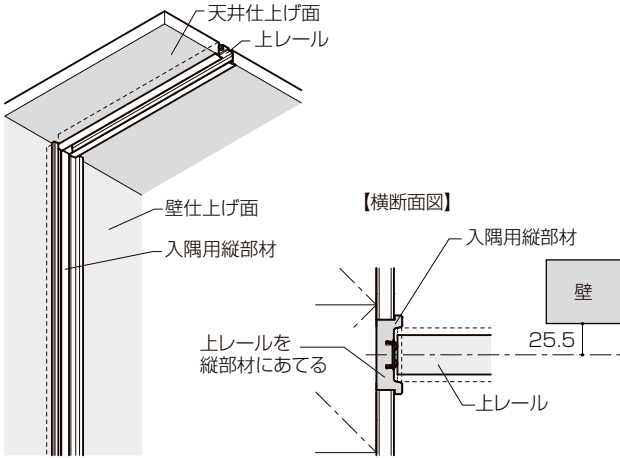
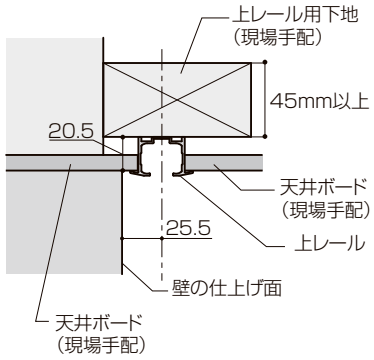
戸当たり



※錠付は木質建具の場合のみ

1 上レール取付け位置の確認

※上レールを取り付ける前に必ず確認してください。
 ※説明図は片引き左勝手の場合です。右勝手の場合は左右対称となります。

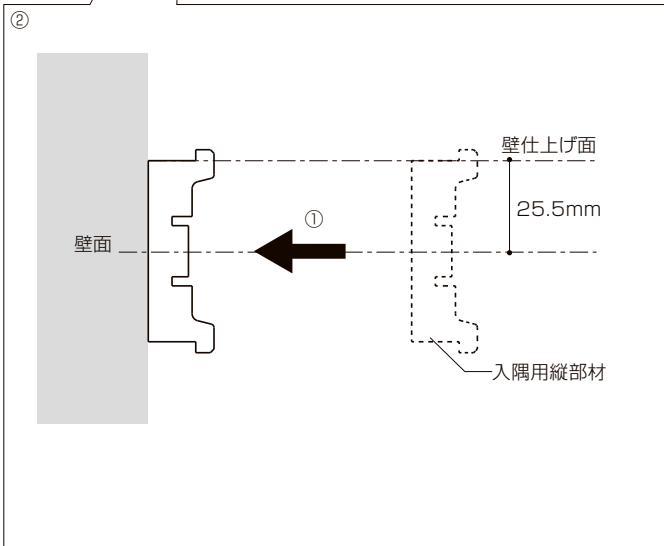
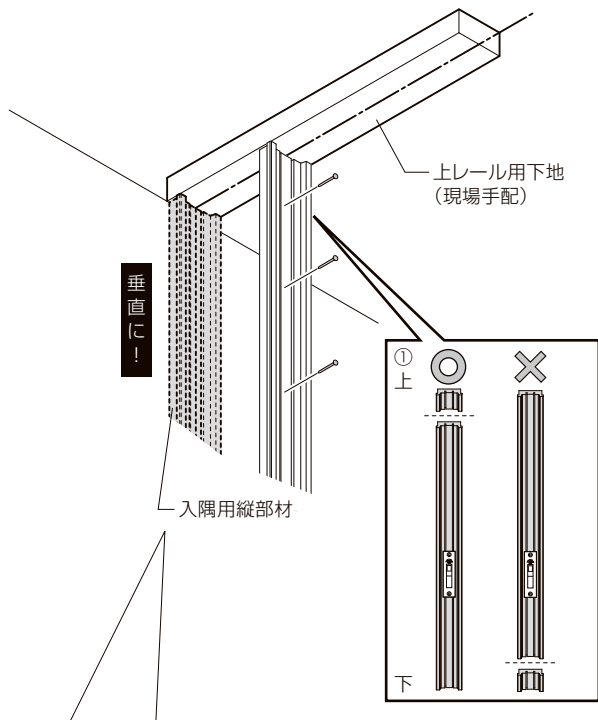
完成図	上レール取付け位置	
	平入納まり  天井仕上げ面 上レール 25.5 24 壁仕上げ面 【横断面図】 壁 25.5 24 上レール	【縦断面図】  上レール用下地 (現場手配) 45mm以上 20.5 25.5 上レール 壁の仕上げ面 天井ボード (現場手配)
 入隅用縦部材	入隅納まり  天井仕上げ面 上レール 壁仕上げ面 入隅用縦部材 【横断面図】 入隅用縦部材 上レールを 縦部材にあてる 上レール 25.5 壁	【縦断面図】  上レール用下地 (現場手配) 45mm以上 20.5 25.5 上レール 壁の仕上げ面 天井ボード (現場手配)

■入隅用縦部材の取付け (入隅納まりの場合のみ)

入隅用縦部材取付け上のお願ひ

- 上端から切断してください。
※錠付きの場合、錠位置がずれてしまいます。
- 開閉不良防止のため、垂直に取り付けてください。

- ①開口寸法に合わせて上端を切断します。
- ②入隅用縦部材を壁仕上げ面から25.5mmの位置に中央合わせで固定します。

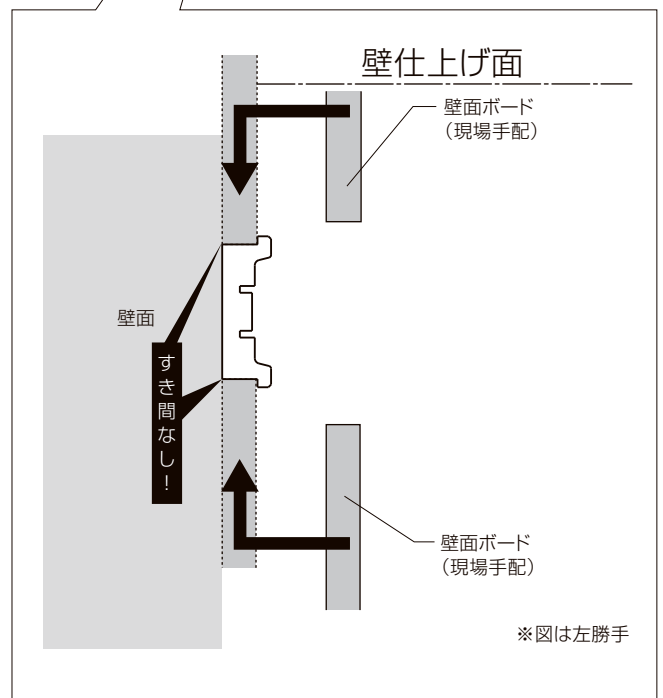
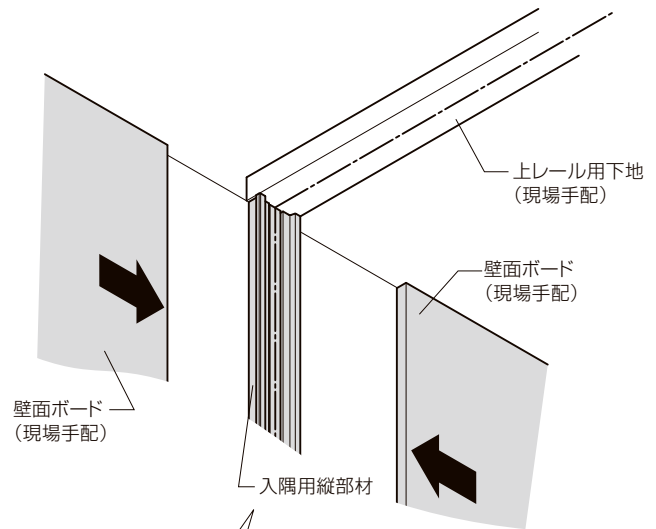


■【建築工事】壁面ボードの取付け

壁面ボード取付け上のお願ひ

- 入隅用縦部材とすき間がないように取付けてください。

- ①壁面ボードを取付けます。

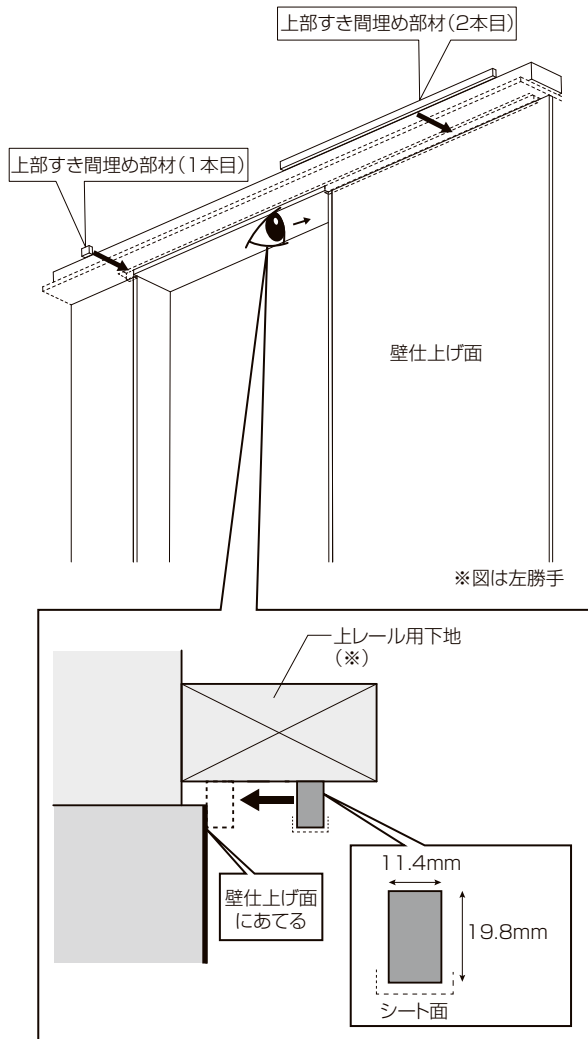


3 上部すき間埋め部材の取付け(別売品)

- ①上部すき間埋め部材を下記表の寸法にカットしてください。
 ②壁仕上げ面に沿うように、接着剤(※)とかくし釘(※)で固定してください。
 ※現場手配

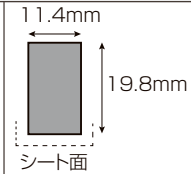
単位: mm

納まり	1本目	2本目
片引戸(平入)	24	(レール長+50)/2
片引戸(入隅)	(レール長+50)/2	—



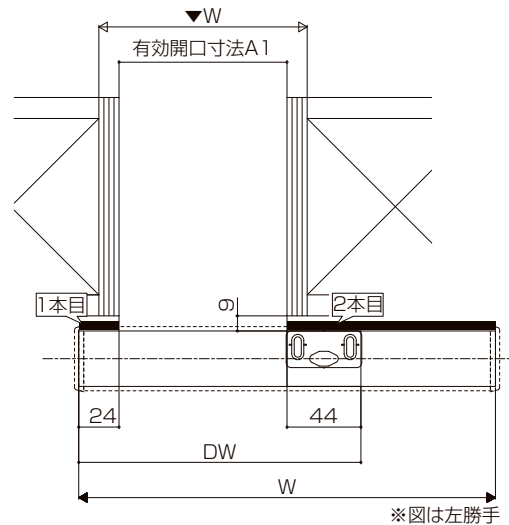
■ 上部すき間埋め部材明細

名 称	数量
上部すき間埋め部材	1

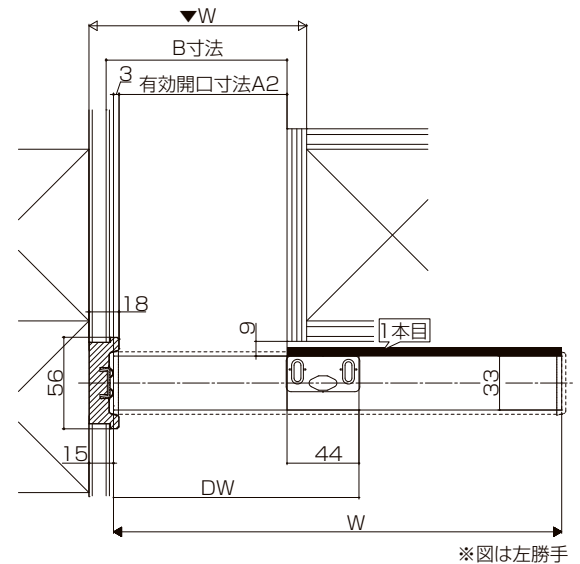


● 上部すき間埋め部材配置

片引戸(平入納まり)



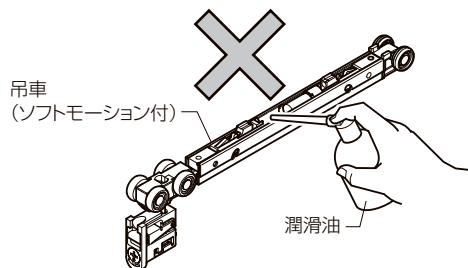
片引戸(入隅納まり)



4 上レール取付け前の準備

上レール取付け準備上のお願い

※作動不良防止のため、吊車(ソフトモーション付)に潤滑油などを塗布しないでください。

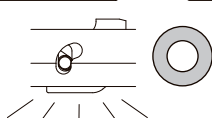


- ①上レールに吊車(ソフトモーション付)と吊車を挿入します。
(下図参照)
- ②端部ピースにストッパーを取り付け、上レールに挿入します。

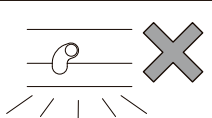
■部品部材明細表

名 称		数量
上レール		1
吊車 (ソフトモーション付き)		1
吊車		1
上レール端部ストッパー		2
上レール端部ピース		2

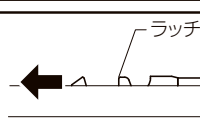
●吊車の挿入前確認(ソフトモーション付)



ラッチが出っ張る

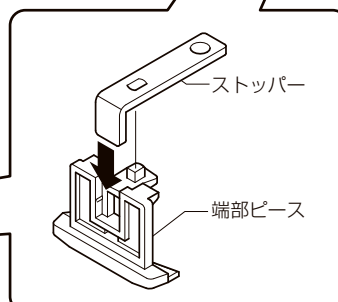
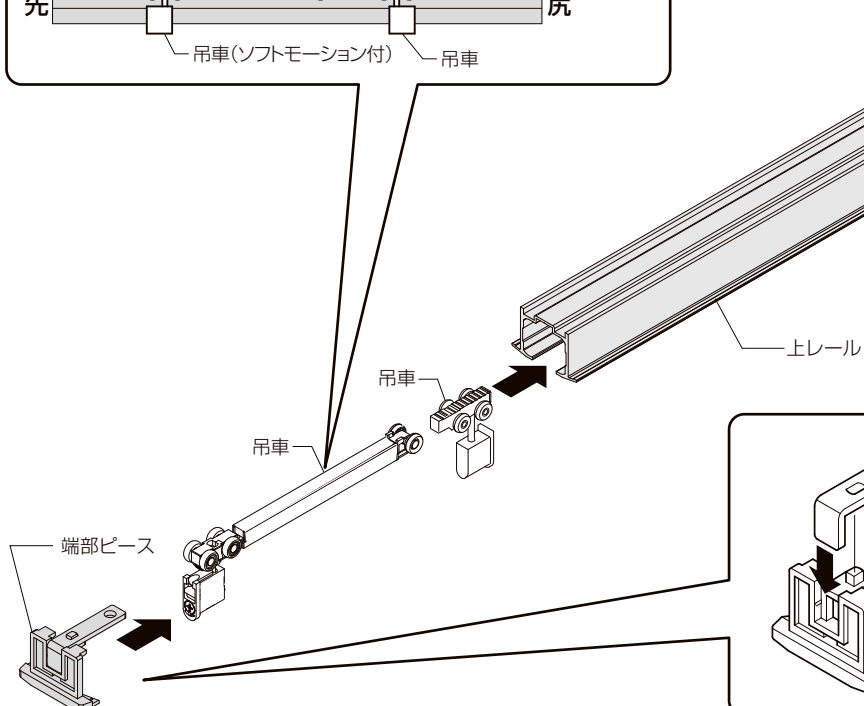
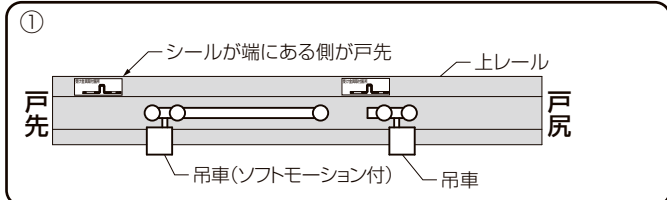


ラッチが出っ張らない



※×の場合
ラッチを引っ張り
正常位置へ戻す。

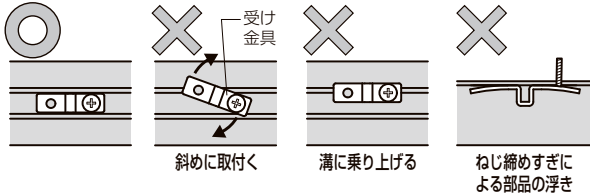
※□は本図と対称



5 上レールと部品の取付け

上レール取付け上のお願ひ

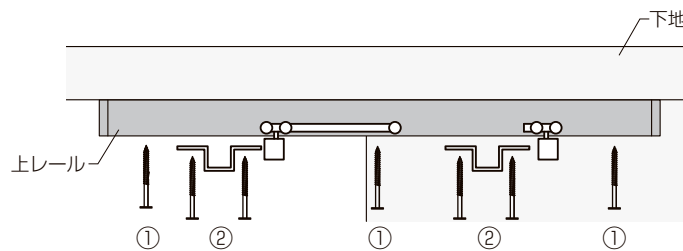
- ・ソフトモーション作動不良防止のため、受け金具は浮き、ガタツキ、締めつけすぎなく上レールに固定してください。



- ①レールを同梱のねじで固定してください。
- ②部品取付け治具を用いてソフトモーション受け金具を指定のねじで固定してください。

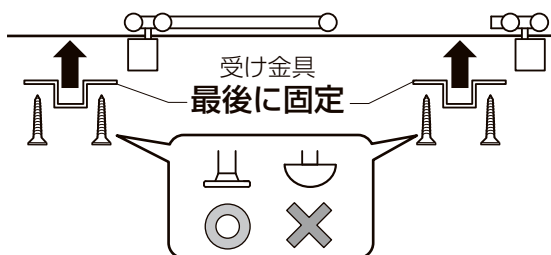
■部品セット明細表

名 称		数量
上レール取付け用 トラスタッピンねじφ4×50		10
取付け治具		1
ソフトモーション受け金具		2
ソフトモーション受け金具取付け用 低頭タッピンねじφ4×30		4

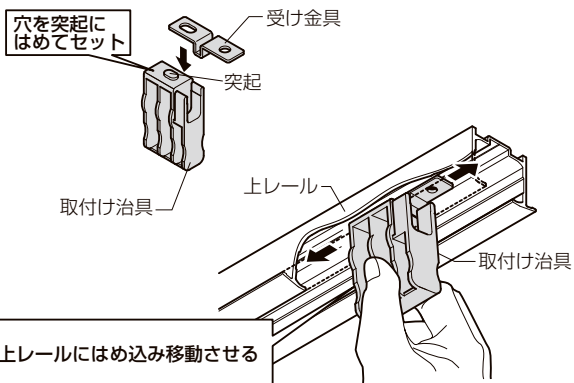


②ソフトモーション受け金具の固定

吊車（ソフトモーション付）は受け金具同士の間に配置してください。



●各部品の取付け方法

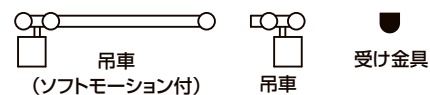
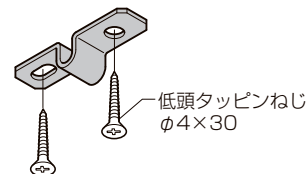


●取付け位置

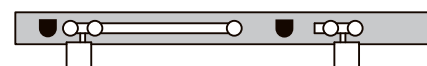
取付け箇所下記シールを貼っています。



受け金具



【片引き戸】

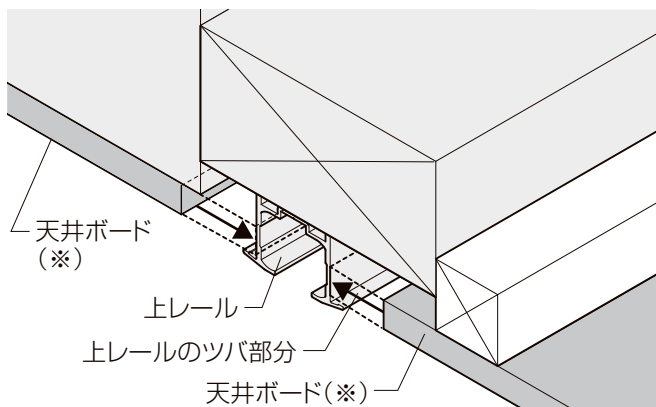


■【建築工事】天井ボードの施工

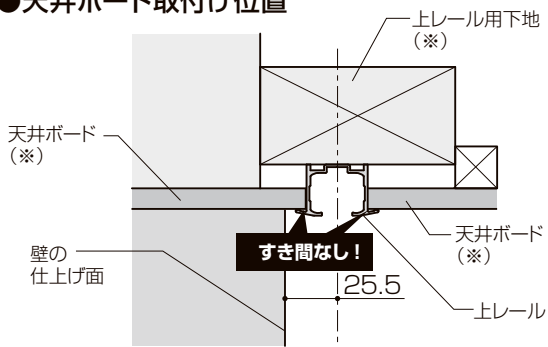
【建築工事】天井ボード施工上のお願い

- 上レール側面に突き付けて、すき間なく施工してください。
- 開閉不良防止のため、上レールに強く突き当てないでください。

①上レールを取り付けた後、天井ボード(※)を上レールのツバ部分にはめ込んでください。
(※：現場手配)



●天井ボード取付け位置



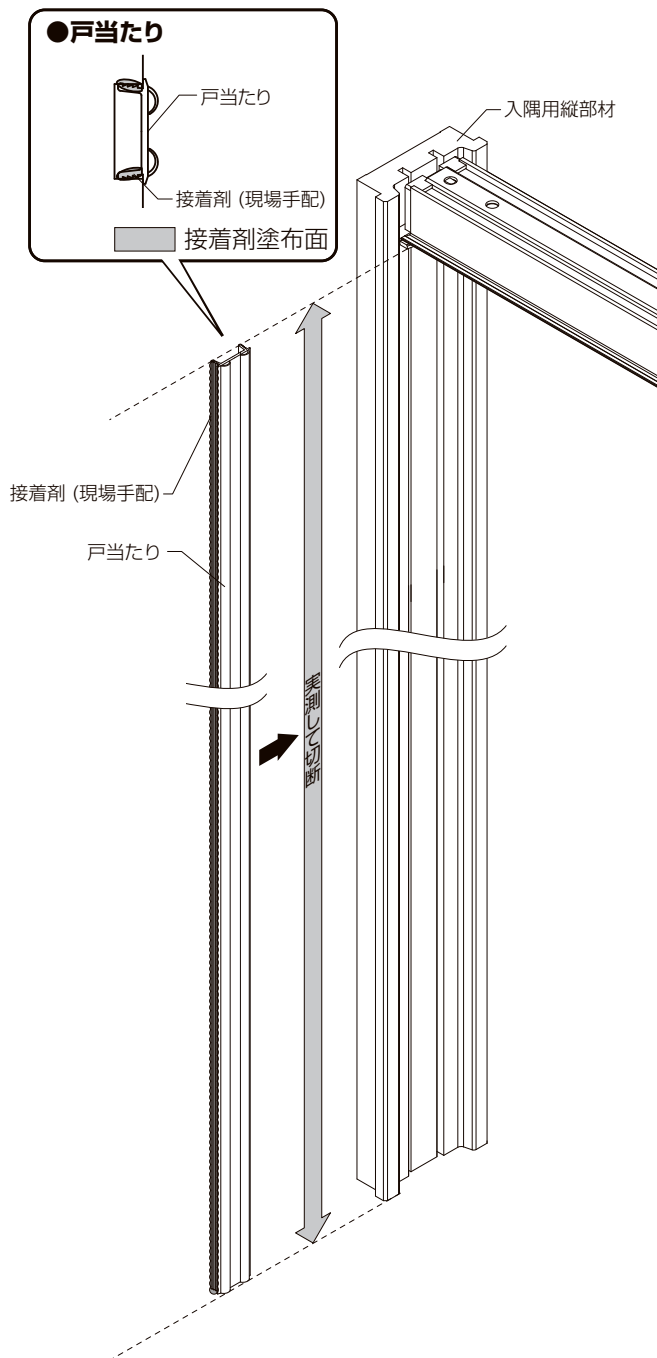
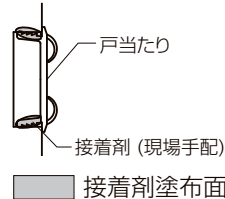
■戸当たりの取付け(入隅納まりの場合のみ)

- ①戸当たりを実測寸法で切断します。
- ②戸当たり取付け部リップ全面に木工用接着剤(現場手配)を塗布して取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

■入隅用縦部材セット明細

名 称	数 量
戸当たり	1

●戸当たり



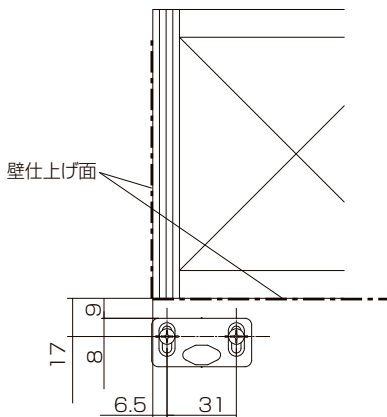
7 ガイドピンの取付け

①ガイドピンを床の指定の位置に固定してください。

■部品セット明細表

名 称		数量
ガイドピン		1
ガイドピン固定用 皿タッピンねじΦ3.5×20		2

●ガイドピン固定位置



※片引戸は左勝手の場合です。右勝手は左右対称となります。

8 本体の吊込み

▲注 意



- 複数人で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。
- 吊車をレバーが下がるまで差し込んでください。製品が脱落し、ケガをするおそれがあります。

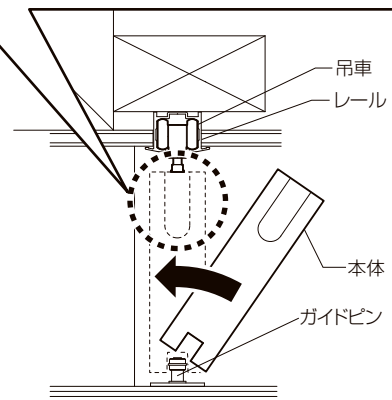
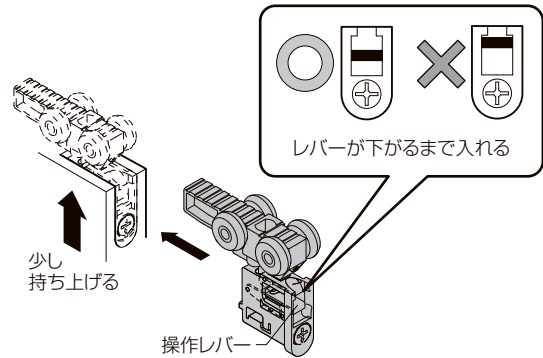


本体吊込み上のお願ひ

- 本体Hが大きく天井や壁にぶつけやすいので、搬入・吊込み時は注意してください。

①本体をガイドピンにはめてから、持ち上げて吊車を最後まで押し込んでください。

●吊車の取付け



Ⅲ 本体への部品付け

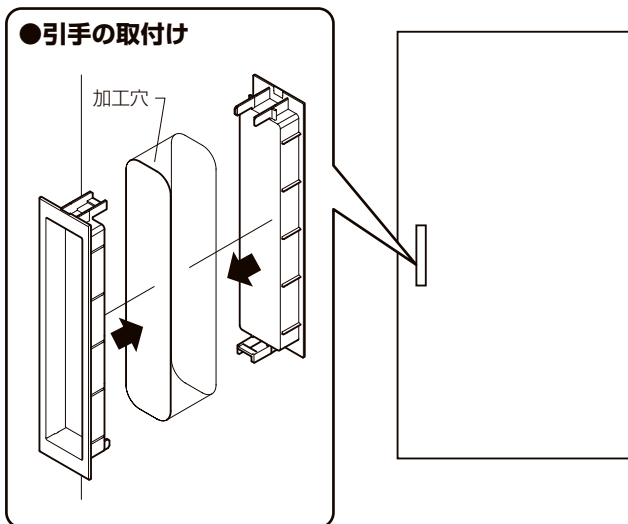
■ 引手の取付け

- ① 仮組みされた引手を平行に引き抜いてください。
- ② 引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

■ 引手セット(別売品)

名称	数量
引手	2

● 引手の取付け



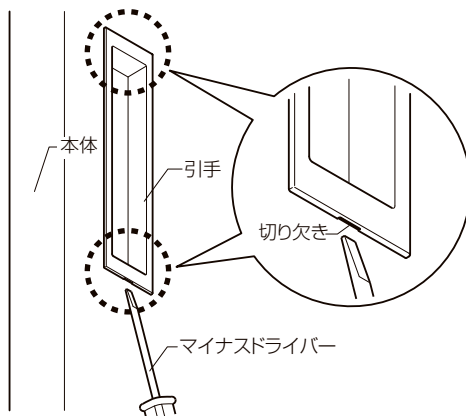
■ プッシュ錠セット(別売品)

名称	数量
プッシュ錠本体	1
錠座カバー	1
カギ(シリンダー錠のみ)	3

※ 錠の取付けについては、錠セットに同梱の取付説明書をご確認ください。

● 引手の取外し方法

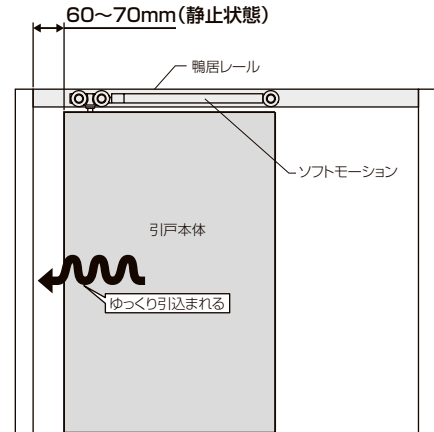
マイナスドライバーなどを切り欠きに入れて外してください。



Ⅳ ソフトモーションの作動確認および本体の調整

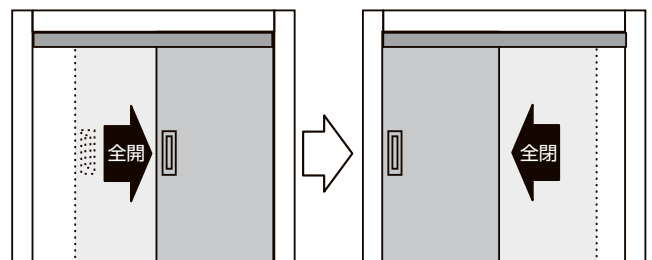
● ソフトモーションについて

- ・ 静止状態で枠から60～70mmで引き込みされます。
- ・ 開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



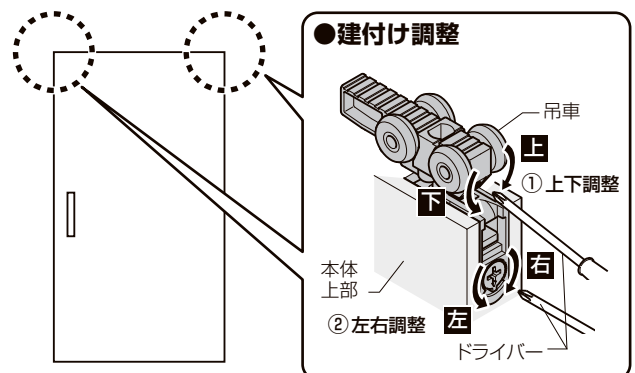
● ソフトモーションが機能しない場合(自動復帰)

- ① 本体を全開してください。
 - ② 本体を全閉してください。
 - ③ 復帰するまで数回全開、全閉する操作をしてください。
- ※ 上記で復帰しない場合は、部品破損の可能性があります。



● 本体の調整

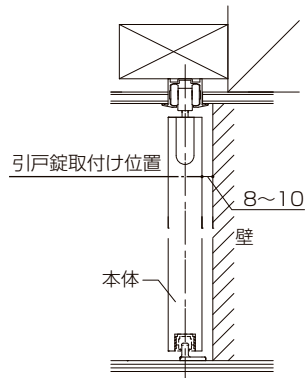
- ① 上下調整(+4mm、-1mm)
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ② 左右調整(±2mm)
ドライバーで右に回すと本体が右へ左に回すと左に動きます。



11 引戸錠受けの取付け

引戸錠受け取付け上のお願ひ

- 錠受け脱落防止のため、本体が上部ストッパーより先に錠受けに当たらないように取付けてください。
- 施錠不良防止のため、壁と本体のチリ寸法は8～10mmにしてください。
→本体の調整(P.10)



■錠受けセット(別売品)

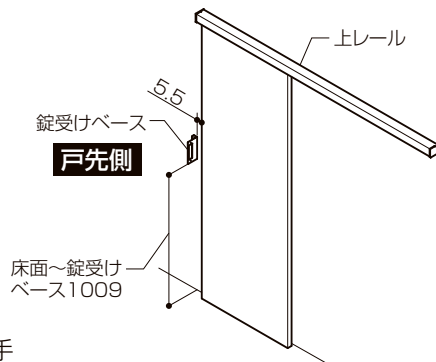
名称	数量
錠受けベース	1
錠受けカバー	1
引戸錠受け	1
錠受け取付け用皿小ねじM4×10	2
ベース取付け用トラスタッピンねじφ4×40	2

※錠受けに左右はありません。

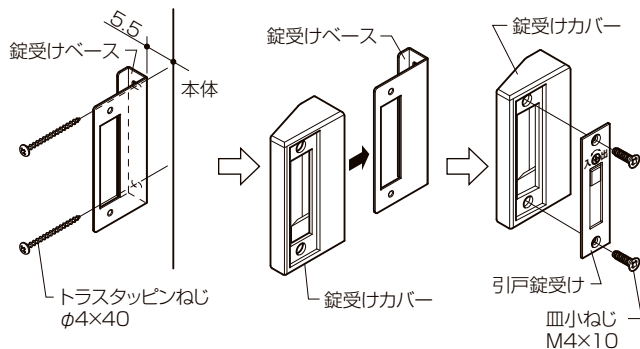
納まりに合わせて向きを変えて取付けます。

- ①同梱のねじで、錠受けベースを壁面に取付けます。
※錠受けベースは、本体を閉めた状態で5.5mmあけた位置に取付けてください。
- ※取付けねじは、柱または間柱に固定してください。
- ②錠受けカバーを錠受けベースにかぶせます。
- ③引戸錠受けを錠受けカバーに取付け、同梱のねじで固定します。

●錠受けベース取付け位置



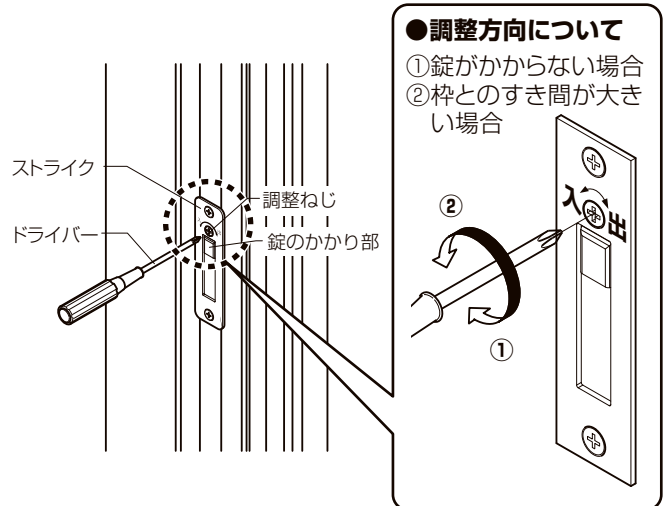
※図はL勝手



12 引戸錠の調整および本体の取外し方法

●引戸錠のかかり調整

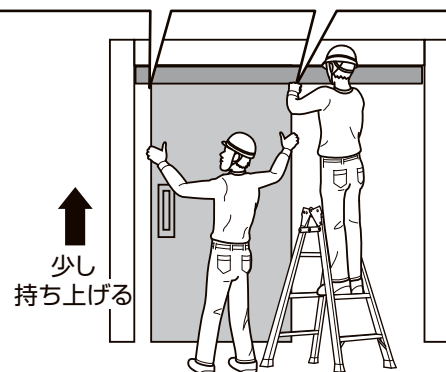
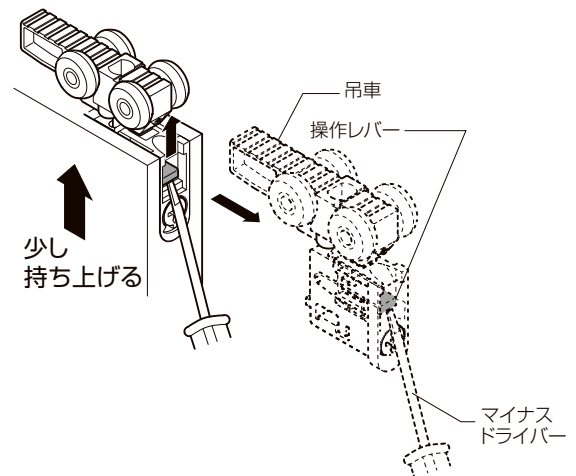
- ①錠がかからない場合、右に回してください。
- ②枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



●本体の取外し方法

- ①本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにします。
- ②操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら吊車を引き抜きます。

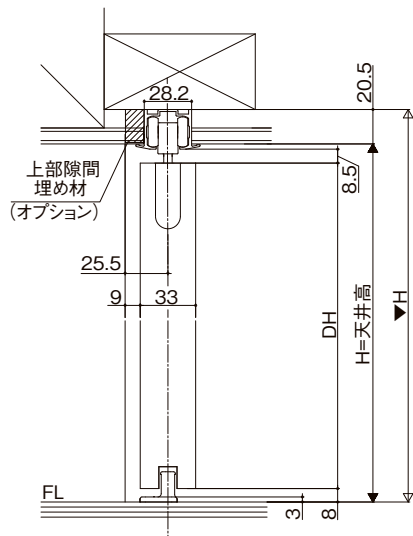
●吊車の取外し方法



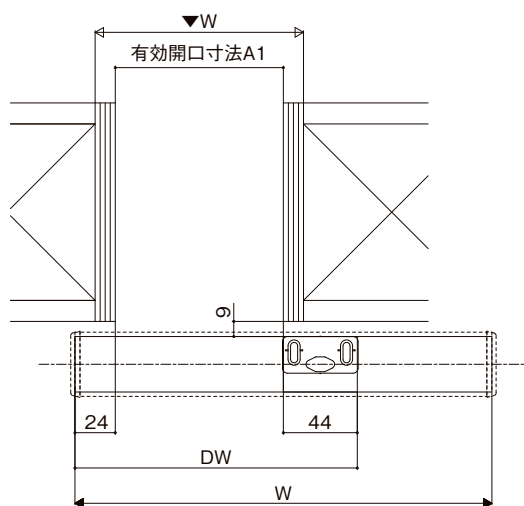
■納まり図

■天井埋込み方式

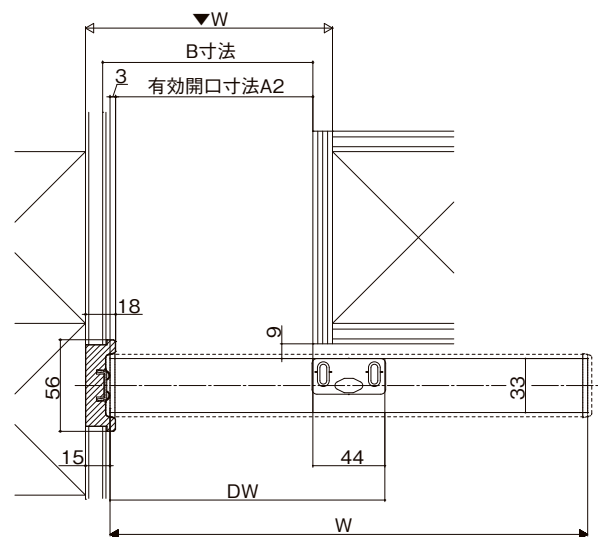
●縦断面図



●横断面図



・平入納まり



・入隅納まり

W呼称(枠外寸法)	A1寸法	A2寸法	B寸法
W16(1636)	780	801	807

算出式: A1寸法 = $(W - 76) / 2$
 A2寸法 = $(W - 35) / 2$
 B寸法 = $(W - 23) / 2$
 DW = $(W + 28) / 2$